

## 路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	小樽三角市場
所在地	小樽市稲穂3-10-16

**【推薦する理由（路地のよいところ）】**

J R小樽駅の改札を出て、左側に行くと15段ほどの上りの階段があり、その先が三角市場の入口、もう一つの入口が国道5号線に船見坂交差点近く、約90メートルの緩やかな坂に沿って15店程度が営業を行っている。

小樽は人口13万人に対して小売市場の多い町で、以前は大手のスーパーが少なく小売市場が繁盛していた珍しい土地である。市場の造りが三角形になっていることから名前が付いた三角市場は、J R小樽駅に隣接し50年の歴史を持ち、テレビや雑誌等にも登場する名物市場として有名である。市場内はゆるい駅側からの坂道になっており、坂の町・小樽を実感することができる場所でもある。毛ガニ・ポタンエビ・小樽産の生ウニ等、海産物を中心に地元の方々や土産を求める観光客に親しまれている。

**【写真添付】**



左：小樽駅側入口  
 左下：国道側入口  
 中央：市場通路  
 右下：ガンガン部隊  
 （ブリキの箱を肩  
 にかけて魚を運ん  
 でいた）



路地	面積	約	h a	路地の延長	約	90 m
のまちの概要	成り立ち、特色等	戦後、引き揚げ者を中心に「ヤミ市」が駅前にできる。昭和25年～29年、手宮からの行商「ガンガン部隊」による、魚卸問屋として繁栄する。昭和32年、屋根が完成、昭和37年7月「小樽駅前市場協同組合」を設立する。さらに三角マーケットを増設、これが現在の「三角市場」となったようである。昭和30年～39年頃から魚卸問屋から、一般市民の小売店へと変わり始め魚屋だけでなく、八百屋、天ぷら屋、肉屋、菓子屋、履物屋、洋服屋、着物屋、はんこ屋、古物屋などが出店し始めた。現在の正式名称は、三角市場協同組合。小樽駅前市場協同組合は、駅前広場の拡幅で姿を消したようである。				

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。